



No.29

中・四国ブロック少年連盟指導者研修会（安芸教区）

後期指導者学習会 子どもの育ちを促す遊び
編集長のイチ推シ! 似島でバウムクーヘン作り



2019年度中・四国ブロック少年連盟指導者研修会 大野豊先生（前列中央）との記念写真



ほとけの子

自坊での土曜学校を開いて八年が経ちました。お勤めから始まり、ほとけ様のお話をし、もの作りなどをして、最後には一緒に外でボール遊びなどをして過ごしています。

最初から来てくれていた子どもたちも大学生や社会人になっています。嬉しいことにその中には大学生、高校生、中学生になった今でもたまに土曜学校に来てくれて小さ

い子の相手をしてくれたり、手伝ってくれたり何かと助けてくれています。

子どもたちも地域の行事や習い事などで忙しく、日程を見計らいながら土曜学校を開いているので不定期に行っておりますが、小学校の登校のパトロールに出た時やスーパーなどでその子どもたちに出会った時「次土曜学校いつあるん?」「今度の土曜学校何するん?」と聞いてくれ、楽しみに思ってくれて、お寺を身近に感じているんだと嬉しく思うことです。

お参りに行くとたまに年配の方が「小さ

いころお寺の日曜学校に行っていました」「お寺でよく遊んでいました」と聞かせてくださることがあります。

今来てくれている子どもたちもそんな思いを持ったまま、さらに大きくなり違う地域に行ったとしても、ほとけの子として阿弥陀様のおこころを大切にいただいて、お寺を身近に感じてくれていたらいいなと思います。少年教化の意義を感じることであります。

（広島北組 浄国寺 山村崇）

子どもの声が聞こえるお寺に

後期指導者学習会

子どもの育ちを促す遊び

令和2年2月26日（水）

於：本願寺広島別院 大会議室

広島医療秘書こども専門学校非常勤講師・小田原短期大学非常勤講師の濱長勇馬先生を講師にお迎えし、「こどもの育ちから考える運動あそびと関わり」をテーマに後期指導者学習会を開催しました。

学習会では先生より色々な種類のあそびのレシピをご紹介いただきながら、参加者一同で共にあそび、そのあそびのねらいとポイントを教えていただきました。



濱長勇馬先生



だるまさんゲーム
リーダーが「だるまさん」と言った後で動きを指示します。「だるまさん」と言わなければ動いてはいけません。指示通り動いたら成功です。
例)「だるまさん、右手を上げてください」(右手をあげる)
「下ろしてください」(下ろしたら負け)



握手でジャンケンポン
片手で握手して反対の手でジャンケンをします。勝ったら相手の手の甲を叩く。負けた方は素早く逃げる。うまく叩けたら勝ち。



手押し相撲
2人で向かい合って立ち、手と手で押し合い足が動いたら負け。



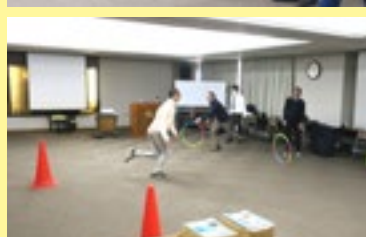
言う事いっしょ、やる事いっしょ
「言う事いっしょ、やる事いっしょ」と言ってリーダーが「前」と言ったら、子どもは「前」と言いながらタイミングを合わせて前にジャンプします。「右」「左」「前」「後ろ」の中から言います。
次に、「言う事いっしょ、やる事反対」と言ってリーダーの言う事と反対の動きをします。リーダーが「右」と言ったら、「右」と言って左にジャンプします。
次に、「言う事反対、やる事いっしょ」と言って、リーダーの言う事と反対のことを言いながら、リーダーの言う事と同じ動きをします。リーダーが「後ろ」と言ったら「前」と言って後ろにジャンプします。



ヘリウムリング
4～7人位で輪になり右手の人差し指の上にフープを乗せます。立った状態から地面にフープを置けたら成功。



フラフープ回転&ジャンプ
フラフープをコインのように回転させ、回転しているフープの中にジャンプして入れれば成功。止まるまでに何人続けてできるかチャレンジ。



フラフープ回転&ダッシュ
フラフープをコインのように回転させ、回転している間に木や壁をタッチして戻ってきてフープを取れたら成功。



震源地ゲーム
震源地役の子は、中心に座った鬼にバレないようにポーズを変えます。周りのみんなは震源地役の子のポーズを真似します。鬼が震源地役の子を当てるゲームです。

ラジオもお寺も心地良い居場所



広島FMラジオパーソナリティー大窪シゲキ先生

令和元年7月3日（水）から4日（木）に「中・四国ブロック少年連盟指導者研修会」が「子どもとのかみこニケーション」いまの時代の子どもに伝えたいこと」とのテーマで、安芸教区の担当により本願寺広島別院で開催されました。遠近各地より79名の参加がありました。

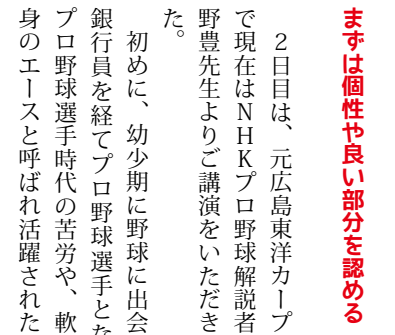
中・四国ブロック少年連盟指導者研修会

【安芸教区】



また、耳で聴くラジオは情景を頭で想像し心で聴くため、私たちが生きて行く上で大切な想像力が身につけていく。
自分が小中学校の時、自分の顔にコンプレックスを持っていた。しかし、ある時そのコンプレックスに思っていた部分が好きだという人が現れた。一人の人に認められたことで、その部分を個性と感じ、生きやすくなった。
日本人の文化として、謙遜して自分のことを良いように言わない風習がある。また報道やニュースでは悪い出来事の方が多く伝えられている。そうすると悪口ばかり言う子ども、人の悪いところばかり指摘する子が育つのではないかと不安である。良いニュースや温かい話題が多いと、子どもたちの頭が磨かれていくと思う。そんな世の中であってほしい。
自分では自分の得意な事や自分に向いている事は分かりにくい。周りの人がその人の良いところを見つけてあげると、人から褒められたり、認められ

また、耳で聴くラジオは情景を頭で想像し心で聴くため、私たちが生きて行く上で大切な想像力が身につけていく。
自分が小中学校の時、自分の顔にコンプレックスを持っていた。しかし、ある時そのコンプレックスに思っていた部分が好きだという人が現れた。一人の人に認められたことで、その部分を個性と感じ、生きやすくなった。
日本人の文化として、謙遜して自分のことを良いように言わない風習がある。また報道やニュースでは悪い出来事の方が多く伝えられている。そうすると悪口ばかり言う子ども、人の悪いところばかり指摘する子が育つのではないかと不安である。良いニュースや温かい話題が多いと、子どもたちの頭が磨かれていくと思う。そんな世の中であってほしい。
自分では自分の得意な事や自分に向いている事は分かりにくい。周りの人がその人の良いところを見つけてあげると、人から褒められたり、認められ



元広島東洋カープ選手の大野豊先生

「ガンバレ」と言われて元気になる子どももいるが、すでに精一杯頑張っている子どもにとっては「ガンバレ」という言葉が辛いことがある。「ガンバってるな」と「る」をつけるだけで違う。
人は「生きていていい」「必要とされる」「居場所がある」という実感が生きる上で大切である。ラジオもお寺も、形は違っても子どもに子ども達の心地よい居場所になれば嬉しい。
時には笑いを交え、時には真剣な表情で、ラジオパーソナリティーのテンポの良い口調で次々と繰り出されるお話に参加者一同聴き入り、あつという間の2時間の講演でした。

れたりすると、とても嬉しい。
大人も自分の好きなことに色々挑戦してキラキラ輝いていることが大切。そんな輝いている姿を子どもたちに見せてほしい。
「ガンバレ」と言われて元気になる子どももいるが、すでに精一杯頑張っている子どもにとっては「ガンバレ」という言葉が辛いことがある。「ガンバってるな」と「る」をつけるだけで違う。
人は「生きていていい」「必要とされる」「居場所がある」という実感が生きる上で大切である。ラジオもお寺も、形は違っても子どもに子ども達の心地よい居場所になれば嬉しい。
時には笑いを交え、時には真剣な表情で、ラジオパーソナリティーのテンポの良い口調で次々と繰り出されるお話に参加者一同聴き入り、あつという間の2時間の講演でした。

まずは個性や良い部分を認める
2日目は、元広島東洋カープ選手で現在はNHKプロ野球解説者の大野豊先生よりご講演をいただきました。
初めに、幼少期に野球に出会われ銀行員を経てプロ野球選手となり、プロ野球選手時代の苦労や、軟式出身のエースと呼ばれ活躍されたエピソードについてお話いただきました。
今回の指導者研修会は「子どもとのかみこニケーション」とのテーマでしたが、お二人の講師の先生が共通してお話された、子どもを認めてあげる、声や思いをしつかり聞いてあげることは、私達の子どもの会活動ではとても大切なことであり、子ども達にとってお寺が温かい居場所となるよう努めてまいりたいと思います。新たにいたしました。

最後に今の子ども達に伝えたいこととして、素直で正直であってほしい。心にゆとりを持って、助け合うこと、笑うことを大切にしてほしい。そして、自分の考えを言葉で伝えられる人に育つため、私たち大人が子どもの話を聞いてあげる時間を作ることが大切であると述べられ、人が育つ上で大切にしたい「5育」を教えてくださいました。

ソードについてお話いただきました。
次に、現役を引退し投手コーチとして選手を指導する立場になった時のことについて次のようにお話しされました。選手の悪い部分やできないところを見つけて指摘をしていたが、それではよくないと思い、その人その人の個性や良い部分を見つけ、認め、まずその部分をどんどん伸ばし、その次に弱い部分に興味を持たせることにした。そして、選手とのコミュニケーションをしっかりととり、選手の考えや思いを聞き、心を開かせることに努めた。
現代の子ども達は人との触れ合いの時間が減ってきているため、日曜学校などの子ども会活動はとても良い場所である。友達との出会いや様々な活動をする中で、たくさんの経験をさせて育ってほしい。



盛り上がった夕食懇親会。風船爆弾ゲームでは割れた人が罰ゲームをするようになっていましたが、実は割れた人には、広島名産品の熊野化粧筆などの豪華景品が贈られる「ドッキリ企画」でした



5育

- ・**体育**…体・健康、動くこと、やる気、挑戦
- ・**和育**…人は一人では生きていけない、周りの人たちと和を作る
- ・**心育**…聞いてあげる、感じてあげる
- ・**才育**…何か良いところを見つけてあげる、認めてあげる
- ・**夢育**…小さいことでも夢を持って進む
- ・**知育**…頭で考える、創意工夫する力

今年は山口教区担当で開催されます。是非とも皆さんで参加いたしましょう。

ナモアミ学習帳

書いて味わう写経ノート

らいはいのうた
正信偈

- ・大人も子どもも使える写経ノート
- ・初めはお手本をなぞって書きます
- ・次は自分で書いてみます
- ・ご門徒の皆様にも喜ばれています

安芸教区少年連盟（本願寺広島別院内）にて頒布

200円

日本のバウムクーヘン発祥の地

にのしま

似島でバウムクーヘン作り



広島市似島臨海少年自然の家

住所

広島市南区似島町東大谷 182 番地

電話

082-259-2766

ホームページ

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/rinkai/>

アクセス

広島港（第5 桟橋）〔似島汽船〕

↓フェリーで 20 分

似島港

↓徒歩 20 分、または、車 15 ～ 20 分

似島臨海少年自然の家

似島の歴史

明治時代、似島には、第一検疫所、第二検疫所が設けられました。明治から終戦までの長きに渡り検疫所では多くの将兵や武器などの検疫が行われました。昭和になると、軍馬の検疫をするための馬匹検疫所が設けられました。そして、1945 年 8 月 6 日、ヒロシマに原子爆弾が投下されると、第二検疫所は臨海野戦病院になり、一万人の被爆者を収容しました。治療の甲斐なく亡くなられた方々は馬匹検疫所の一角に火葬されることもなく埋葬されました。第二検疫所は空前絶後の臨時野戦病院隣、その遺骨や遺品が戦後数多く発掘されました。



少年自然の家の重末さんより似島の歴史について分かりやすく説明いただきました



第二検疫所の重要な生活用水の水源として利用された井戸や、原爆被爆者のご遺体が火葬された「旧陸軍運輸部馬匹検疫所焼却炉」など、戦争の悲惨さを伝える遺構が保存されています



バウムクーヘンの歴史



カール・ユーハイム
(1886-1945)



現在の原爆ドーム（物産陳列館）が描かれている展示会のパンフレット

第一次世界対戦時には検疫所内に似島独逸人俘虜収容所が設けられ、多くのドイツ人捕虜が収容されていました。独逸人捕虜の「カール・ユーハイム」は捕虜収容所で仲間たちのために菓子を焼いていました。1919 年 3 月 4 日、物産陳列館（現原爆ドーム）にて、似島独逸人俘虜技術工芸展覧会が催され、これが日本人とユーハイムが作ったバウムクーヘンが最初に出会ったできごとです。

バウムクーヘンの作り方 その① 生地作り

まず生地作りです。12 個の卵を卵黄と卵白に分け、卵黄には砂糖・溶かしたバター・薄力粉の順に入れペースト状になるまで混ぜます。卵白はよく泡立てメレンゲを作ります。2 つを合わせて生地の完成です。

次に焼く作業。炭火の上で竹に塗った生地をきつね色になるまで焼く、生地を塗る、焼くを生地が無くなるまで繰り返します。だんだんと大きくなっていきます。

生地作り約 30 分、焼く作業約 60 分で大きなバウムクーヘンが完成しました。



①卵を卵黄と卵白に分けます



②卵白は泡立て器でかき混ぜメレンゲを作ります「つ」が立つまでよく泡立てます



③-1 溶きほぐした卵黄に砂糖を入れて混ぜ合わせる



③-2 次に溶かしたバターを加えて混ぜ合わせる



③-3 薄力粉を 3 回に分けて加えて混ぜ合わせる



④卵黄を混ぜたボウルに泡立てた卵白を入れて、混ぜ合わせます

その② 焼き方



初めに竹の棒を炭火で温めます



おたまを使って竹の棒に生地を塗ります



竹の棒を軽く叩いて余分な生地を落とします



炭火の上でゆっくり回しながら、きつね色になるまで焼きます



生地を塗って・焼いてを繰り返し、ボウルに作った生地がなくなれば完成

材料（6～8 人分）
薄力粉 300g
砂糖 300g
バター 270g
卵 12 個

用具

ボウル 2 個
泡立て器
おたま、しゃもじ、包丁、まな板、
バーベキューコンロ、炭、
竹の棒（空気が抜ける穴を開ける）

※竹を芯に使用する場合は、熱で破裂しないよう
空気が抜ける穴を空けておきます